

## 東郷・藤田医大バス廃止について

### 1 運行経緯

大規模病院までの交通手段を確保し、外来通院等の利便性の向上を図ることを目的に令和3年4月から運行している。導入当初から利用者が少なく（R7実績：5,952人/年）、需要が限定的である。

### 2 運行概要

項 目	内 容
運行主体	東郷町
運行事業者	名鉄バス
運行経路	ららぽーと愛知東郷～藤田医科大学病院（直通）
運行距離	7.3 km（往路）、7.2 km（復路）
運行日	平日（祝日、年末年始を除く。）
運行回数	12 便/日（往路復路各 6 便）
運行期間	令和3年4月～令和9年3月

### 3 実績（令和7年度）

利用者数 5,952 人（242 日、2,904 運行）

1 日平均 24.6 人

1 便平均 2.0 人

運行負担金 11,963,985 円

### 4 廃止理由

一定の利用ニーズは存在するものの定時定路線のバスを運行するために十分な規模になく、限られた資源配分として妥当性を欠く状態となっているため。また、需要が大きい町内移動の確保・維持・拡充のため資源を再配分する必要があるため。

### 5 廃止日

令和9年3月31日

### 6 経過

R3.4 運行開始

R6.4 ダイヤ変更（巡回バス乗継ぎ実施）

R7.8 名鉄バス株式会社協議

R7.9 豊明市、藤田医科大学病院協議

R8.2 地域公共交通会議上程

R8.3 ららぽーと愛知東郷協議

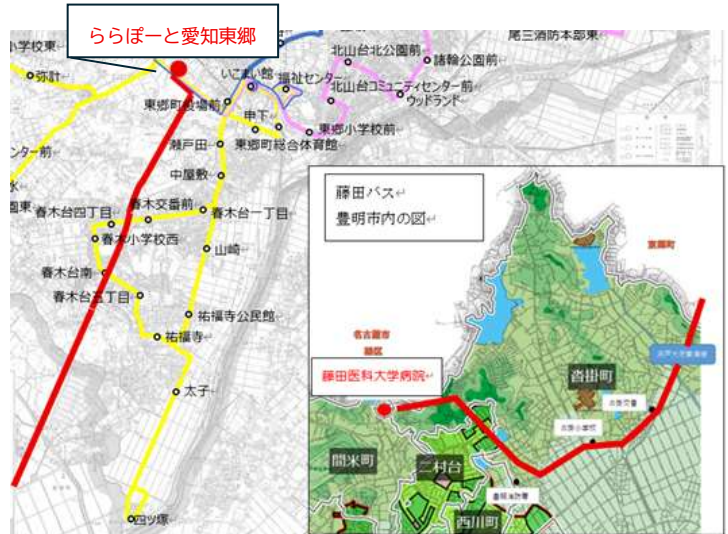
R8.4 豊明市協議

R8.5 藤田医科大学病院協議

R8.7 豊明市地域公共交通会議上程

参考資料：令和7年度第4回公共交通会議資料

【図】東郷・藤田医大バス路線経路



# 本町公共交通施策の今後の方針（東郷・藤田医大バス）

## 1 東郷・藤田医大バス概要

### (1) 運行概要

目的：大規模病院までの交通手段を確保し、外来通院等の利便性の向上を図る。

経路：ららぽーと愛知東郷～藤田医科大学病院（直通）

運行日：平日（祝日、年末年始を除く。）

便数：12 便/日（往路復路各 6 便）

車両：中型バス

運賃：300 円/人（中学生以下・65 歳以上・障がい者は 150 円、未就学児無料）

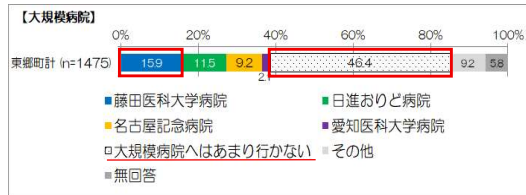
運行開始日：R3.4.1

利用人数：5,036 人/年（R6 実績）

負担金額：12,027,555 円/年（R6 実績）



【図 9】もっともよく行く施設（H30 町民アンケート）



### (2) 導入経緯

・本町に多くの病床数を有する総合病院がないことから、町民アンケート（H30 実施）で最も町民の利用頻度が多い藤田医科大学病院への乗り入れを検討

・R3.4.1 運行開始

## 2 見直し事項

持続可能な公共交通の実現のため、運行事業者との協定期間が終了する **R9.3 末をもって、東郷・藤田医大バスを廃止する。**

### (1) 理由

#### ア 需要が乏しい

- ・一定のニーズはあるものの、定時定路線のバスを運行するための十分な規模には達していない。
- ・特定の 1 施設への移動に特化したバスであり、目的が限定的であるため年間利用人数は 5,036 人（R6 年度実績）である。同じコミュニティバスである「じゅんかい君」は、日常生活の足として多くの需要がある。
- ・計画段階では、当初想定していた乗車定員 13 人程度のワンボックス車では乗りこぼしの発生を懸念する声（R1.10 公共交通会議）があったが、実績は利用者数が最も多い往路第 1 便でも平均 3.9 人/台（最大 9 人/台）と低調である。

#### イ 費用対効果が低い

- ・定時定路線のバスは、大量輸送を目的とした交通モードであるため、現状の移動需要に対しては過剰なサービスとなっている。R6 年度の 1 便あたりの平均乗車人数は 1.7 人 である。
- ・1 人を輸送するのに必要なコストは以下のとおりであり、じゅんかい君の最も効率の悪い路線と比較しても効率は 1/4 以下である。

参考  
R7 第 4 回東郷町地域公共交通会議資料（一部修正）

【図 10】じゅんかい君との比較

R6 年度実績	東郷・藤田医大バス	じゅんかい君（北コース）	じゅんかい君（南西コース）	じゅんかい君（東コース）
台数	1	2	1	1
乗車人数	5,036	145,285	33,794	36,953
町負担額*	12,027,555	37,134,288	18,567,144	18,567,144
1 人あたり輸送コスト（町負担額/乗車人数）	2,388	256	549	502
1 便あたり乗車人数	1.7	17.8	12.3	12.3

※じゅんかい君は車両数で按分

### (2) 対応

限りある資源で町全体の利益を最大化するため、東郷藤田医大バス廃止により生じる経費縮減分を本町の交通施策の中核を担う「じゅんかい君」の運行に充当し、町内移動手段の確保・維持又は拡充を図る。なお、東郷藤田医大バス廃止に伴う代替輸送は設けない。



（名鉄バス柵）

藤田医科大学病院へは、名鉄バス路線により前後駅から 32,33,34,35 系統の計 56 便が接続し、徳重駅からは 34,35 系統の計 16 便が、赤池駅からは 35 系統の 8 便が接続しており、移動手段は確保されている。なお、本町巡回バス沿線の名鉄バス 35 系統の停留所は名鉄白土、東白土、音貝小学校前、半ノ木公園がある。

### 3 スケジュール（予定）

- R7.7～ 運行事業者（名鉄バス柵）、藤田医科大学病院、豊明市へ運行終了について協議
- R8.2 公共交通会議へ上程
- R8.9 運輸局への路線廃止手続き
- R9.3.31 運行終了